

T W I N K L E F E S

2007年12月27日 下北沢・タウンホール



ラーメンズ（真ん中二人）とエレキコミック

ラーメンズが所属する事務所トゥインクルコーポレーションのお祭り。昼と夜の公演合わせて600人収容のホールに武道館動員数程の応募があった。200番後半の整理番号を手にし、座った席は11列目。恐ろしいほどステージが近い。案の定、お客さんは20代中心。麻生につき合わせて一緒に行ったので平均すればあたしだって……うっ、それでも35才 🐱

1時10分から始まった舞台はいきなり小林賢太郎の登場で始まった。でも、ファンは騒がない。「しょ〜ぞ〜！」みたいなノリじゃない。ポルノグラフィティのコンサートによく行くようになった麻生はその静かな登場に驚いていた。賢太郎をアイドルにしないファンの姿は感じがいいじゃない。背中に祭と書かれた法被姿で客席を見渡して「いやーなんかもう感動しちゃって…」なんてらしくない言葉で素の表情をしている賢太郎。賢太郎と一緒にMCをしたのは、片桐仁とエレ片というラジオ番組をもっているエレキコミックのコンビ。いつもと勝手が違う賢太郎との絡みにぎこちなさがあったオープニングトークが終わり、幕が上がってトゥインクルの若手全員が登場。いない。肝心な人がいない。

と思っていたら「ちょっと待った〜！」と聞きなれた声が後ろから。なんと私の列の通路の後ろに派手な衣装の片桐仁が立っていた。階段を下りながら握手をしていき、思わず差し出した私の手に重なるように若い手が伸びていて、片桐仁は私の手を飛ばし、若い娘と握手をして去って行った。横を見るとにこにこしている麻生。「賢太郎なら手を出さなかったけど、ギリジン（片桐仁）好きだから」って。はい、よかったね。握手できて。。あなたが手を出さなかったらあたしだったのよ、という思いは大人だから胸にしまって。。

そこから片桐仁が仲間に入ると、若手の芸人たちの飛び蹴りやら搦りやらの洗礼。賢太郎とはまるで違う扱い方。「やめろー！」と叫んで片桐仁の前に立ちはだかる賢太郎にもこれといったアクションも言葉もなく笑ってる片桐仁。賢太郎を中心に進むステージとは反対に片桐仁は最後までこんな調子で、声を聞いたのは最後のラーメンズのコントと告知くらいだった。自由奔放なイメージがあったからちょっと意外。

インターバルの大喜利のコーナーでも10人以上の若手芸人VS賢太郎。片桐仁は若手チームにいて、けしてラーメンズVS若手にはならない。



賢太郎の存在、力の強さが象徴されていてちょっと淋しかった。

若手の舞台が終わって、大トリ前はエレキコミック。伝統的ともいえるネタに素直に大笑いしてやっと登場、ラーメンズ！このときを半年待ったよ～👇

初期の公演のガンダムネタ。心から残念なのは私はガンダム世代じゃない。

CMに行く時の音やテーマ曲を知らなくてもコントの会話で理解できて笑えるけれど、なんたって悲しかったのはオチの「ザクとは違うんだよ」の意味が全くわからなかったこと。ザクってなんだ、一体。。片桐仁がガンダムマニアだというのは有名な話だけど、賢太郎も好きだったのね。だからといって世代が違うファンを忘れちゃだめじゃないかっ！

最後は全員がステージに出てきて今後の活動のPRタイム。ラーメンズの番になって「明日久しぶりにテレビに出ます」。言葉、違うでしょ。第16回公演の『TEXT』が深夜教育テレビで放映されるの間違いでしょ。そんなオトボケ賢太郎の投げキスを受け取って3時45分終了。

『TAKEOFF』より遥かに楽しい時間だった。若手のお笑いもM1グランプリの芸人たちより面白かった。夜の公演は0時開演のオールナイト。若かったらそっちにも参加したいところ。ヤフオクでは3500円のチケットが5万近くになっていた。それほどのフェスだから、最初に写真撮影、録音、メモなどの禁止についての注意事項があった。でも賢太郎は「キウ言ってもこの会場で誰かが録ってるんだろおなあ」って言った。今日の音が流れるのは覚悟の上ってことね。それほど多いうてことなのかな。

浜省友達にもコンサートを録音している人がいて、気持ちはわからないじゃないけど、その瞬間つてのをもっと大事にした方がいいんじゃないかと思う。戻らないから大事ってこともあるしね。なんてたまにはマトモなことも言ってみた。

ロビーに出て、麻生に薦められてフェスの福袋を2000円で購入。買う前からラーメンズ以外の残り物グッズだとは思ってはいたけど、思ってたよりひどかった。でもまあ記念だしね。

麻生とお茶してから別れて下北沢の友達と一杯。でもラーメンズ自体知らない友達のテンションはラーメンズの余韻の残るあたしにはちょっと辛いものだった。



Kentaro Kobayashi
(from RAHMENS)
+
Tomoyuki Tanaka
(from Fantastic Plastic Machine)
||
SymmetryS
||
?

今夜は『TEXT』放送日。

シンメトリーズという私の知らない人とのユニットで、ヘッドフォンオペラという新分野のCD発売、

3月には以前の舞台のDVD発売、

そして春にはチケット争奪がかなり厳しい賢太郎単独ライブ。まだまだ楽しみは続き、私のラーメンズ熱もまだまだ続く！